

理想的ロータリー・クラブの条件案

2005 年 5 月 20 日

クラブ会長 各位、

クラブ強化推進委員会から昨年度発刊させていただいた 15,000 冊のロータリアン必携は短期間で完売となり皆様にご迷惑をおかけいたしました。今年度 4 月末に 2005 年度改訂版を発刊いたしましたのでご活用いただきたいと存じます。さて、この度「理想的なロータリー・クラブの条件案」としてどのような項目があるかクラブ強化推進委員会で検討し、以下の通りその案を纏めてみました。つきましては、各クラブにおいてももしご関心がございましたらその一部でもご活用頂ければ幸いです。各クラブの人数や地域特性等によってそれぞれ条件が異なると思われるので、クラブに合った項目を選び内容の変更または追加によってさらに効果が得られるのではないかと思います。項目によっては退会防止にも役立つことを期待しています。貴クラブの益々のご発展をお祈りいたします。

第 2 期クラブ強化推進委員会

全般

1. ロータリーの綱領の重要性を理解し、全体をバランスよく実践している。
2. 国際ロータリーのテーマをよく理解している。
3. 地区内のモデル・クラブとして卓越したクラブを目指している。
4. ロータリーにおける全ての活動に会員は意欲的である。
5. ロータリーのバッヂをいつも着けている。

クラブ奉仕 - 出席

6. 年間平均 90 %以上の出席率を目指している。
7. ゲストのためにも、出席率のためにも年間の例会変更が安易に行わない。

クラブ奉仕 - 親睦

8. 全会員がロータリーの基本である親睦と奉仕を常に心得ている。
9. 親睦活動が活発で、しかも和やかな雰囲気である。
10. クラブ内に派閥をつくらない。
11. 会員が声を掛け合う（挨拶や名前を呼ぶ）比率が高い。
12. 会員や配偶者の誕生日、結婚記念日を例会で祝う。
13. 会員の配偶者が時々例会に出席したり行事に参加する。

クラブ奉仕 - 例会

14. いつも他人から学ぶ姿勢で例会に臨んでいる。
15. 例会中の私語がきわめて少ない。
16. 例会中、お話しの前後に大きく拍手する会員比率が70%以上である。
17. 例会でのクラブ会長の挨拶は、ロータリーに関することに重点におく。
18. 他のクラブをメーキャップした体験を時々クラブで報告している。
19. 例会の卓話に青少年交換学生、財団学友や米山奨学生を招いている。
20. 四大奉仕部門についてそれぞれ年間最低1回は30分のクラブフォーラムを実施している。

クラブ奉仕 - プログラム

30. 全会員が関心を持てるような例会のプログラムを実施している。
31. 例会プログラムや奉仕プログラムはマンネリ化させず、会員のニーズに合わせ前例主義にならない工夫をしている。
32. 「ロータリーの月間」にはそれぞれの具体的なプログラムを行っている。

クラブ奉仕 - 会員増強

33. 会員はロータリーの素晴らしさを認識し、退会防止に努め会員増強に熱心である。
34. 新会員勧誘は全会員がグループに分かれて行い、退会防止に全会員がエネルギーを注いでいる。
35. 新会員の入会式を実施し、心から歓迎の意を表している。

クラブ奉仕 - 会員組織

36. 会員の年齢で老・壮・青のバランスがとれるよう努めている。
37. 会員の多様性を認める（人種、宗教、職業別、年齢別、性別、考え方、価値観等）。
38. 近い将来に女性会員が全会員の10%以上（世界の現状では12.5%です）になるよう常に努力をしている。

クラブ奉仕 - 新会員教育

39. 新会員にロータリーの基本や歴史について話し合う会合を持つ。
40. 新会員教育の3ヵ年計画を持っている（新会員に3ヵ年の教育計画を入会時に明示する）。
41. 新会員教育を年間最低6回以上実施している。

クラブ奉仕 - ロータリー情報

42. ロータリー情報が少なくとも4分以上毎例会に提供されている。

クラブ奉仕 - 雑誌・会報

43. 雑誌委員会は月に1回以上、例会で「ロータリーの友」の内容と感想を報告し

ている。

44. クラブの歴史の節目に「クラブ史」を編纂している。

クラブ奉仕 - 広報

45. ロータリーのイメージアップと地域への PR に全会員が力を注いでいる。

クラブ奉仕 - 会合

46. それぞれの委員会が活発に活動し、活動後に反省会が行われている。
47. クラブ理事会の報告は毎月実施されている。
48. クラブの委員会報告が例会で常に活発にされている。
49. 国際大会・地区大会・I M その他の行事への積極的参加を目指している。
50. 地区セミナーや国際大会参加者が参加後 2 週間以内に例会で 15 分以上報告している。
51. 地区レベルやクラブを超えた行事のホストを積極的に引き受ける。

クラブ奉仕 - 指導者

52. クラブや地区の将来を見据えた広い視野からクラブ会長を選んでいる。
53. クラブを超えて将来活躍できる人を育てる努力をしている。
54. 地区委員など積極的にクラブから選出し、委員を支えている。

クラブ奉仕 - 財務

55. クラブ活動資金と運営資金を明確に分けている。
56. クラブの財務で赤字を作らない。
57. 年会費以外にはできる限り例会でロータリー関係以外の資金を集めないよう努力している。

クラブ奉仕 - 運営

58. クラブの発展を図るため長期計画（3 - 5 年）を立て、毎年更新している。
59. クラブ運営について、まず棚卸を行い、反省と改善が常に実施されている。
60. 「クラブ活力テスト」を年一回実施し、理事会が対策を検討している。
61. 「クラブ会員満足度アンケート」調査を年一回行なっている。
62. 全会員が自分のクラブの良き伝統や個性を自覚し、それを発展させている。
63. インターネットやメールを活用する。しかし、印刷物や F A X を希望する会員への配慮もされている。
64. 政治的問題は例会中には一切触れない。
65. 会員および家族の個人情報の保護に努めている。

職業奉仕

66. 職場や地域社会で職業倫理を高めるためのクラブ活動や議論が行われている。
67. 全会員は「四つのテスト」を暗唱し、これを実行している。

社会奉仕

- 68. 思いやりの心を持ち他人や社会のために尽くすこと(奉仕の理想)を理解している。
- 69. 地域社会のニーズを的確に捉え、地域社会に対する奉仕とそのPRの機会を逃さない。
- 70. 例会の卓話に地域の顕著な活動実践者を招き、地域のニーズを知る。
- 71. 奉仕プロジェクトは綿密に計画し、実施後必ず評価を行っている。
- 72. RAC、IACの少なくとも一つをスポンサーしている。

国際奉仕

- 73. 会員はロータリー財団のプログラムと寄付の重要性を認識している。
- 74. WCS、ポリオ、保健問題、教育など人道的/教育的プログラムをクラブで討議し、挑戦しようとしている。
- 75. 財団の年次寄付は全会員が少なくとも年間100ドル以上行っている。
- 76. 各種奨学生、GSEなどのお世話をし、国際親善に参加する積極性・受容性がある。
- 77. 国内外の姉妹クラブを持ち、交流を定期的に行う。
- 78. 米山財団への寄付はその趣旨をよく理解し、積極的に取り組んでいる。